

# Discovery H. S. Kanzaki

ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

2021. 6. 30  
第474号①  
兵庫県立神崎高等学校  
TEL 0790-32-0209



夢を発見し実現できる学校



## 校内美化活動

6月11日(金)に美化活動を行いました。ボランティア部、保健美化委員会の生徒20名で校内の溝や落ち葉の清掃を行いました。

中庭や武道場周辺、校門、体育館周辺の溝掃除を行いました。1時間程度の清掃でしたが、生徒たちは普段使用している場所をきれいにしようと、一生懸命取り組んでくれました。

溝掃除は力仕事が多く、清掃の大変さを知ること、普段から掃除していただいている方への感謝の気持ちを改めて確認することができたのではないかと思います。



## 神高祭

### 『時を忘れる一日を』

6月18日(金)、「時を忘れる一日を」をテーマに神高祭が開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症のため、開催することはできませんでした。2年ぶりの開催に生徒たちは昨年の分まで大いに楽しみ、盛り上げてくれました。今年度は1日開催のため、午前中に文化部等のステージ発表を、午後からは各クラスの展示に学年制作動画の上映と並行して、有志の発表も行いました。

オープニングは、生徒会執行部による「南中ソーラン」。これまでの伝統を引き継ぎ、息の合った迫力ある演技を見せてくれました。



## ステージ発表

開会式の後は、ステージ発表が行われました。最初は、茶華道部。音楽に合わせてグラジオラスやドウダンツツジ、テッポウユリなどの花を生けるパフォーマンスを行い、ステージに彩りを与えてくれました。続いて家庭科部は、浴衣と袴の着付けのパフォーマンスを披露してくれ、着付けが終わった時には、とても華やかな姿がステージを彩っていました。

また、書道部のステージでは、「私たちの夢」をテーマに書道パフォーマンスを行い、素晴らしい作品ができ上がりました。音楽選択者によるステージ



では、1年生はピアノ・キーボードを用いて「第3の男のテーマ」を演奏し、3年生はそれにドラム・ホルン・トロンボーンを加え「Smoke On The Water」を演奏しました。午前の最後を飾るのは吹奏楽部。演奏曲は「残酷な天使のテーゼ」「Code Blue」「SING, SING, SING」「ただ君に晴れ」。誰もが一度は耳にしたことがある曲のため、大いに会場を盛り上げてくれました。演奏後、拍手とともに生徒からのアンコールの声が上がり、「ヤングマン」が演奏されました。1年生の部員が曲に合わせて舞台上でダンスを踊ると、会場からも手拍子があがり一緒に盛り上がりました。

# Discovery H. S. Kanzaki

2021. 6. 30

第474号②

兵庫県立神崎高等学校

TEL 0790-32-0209

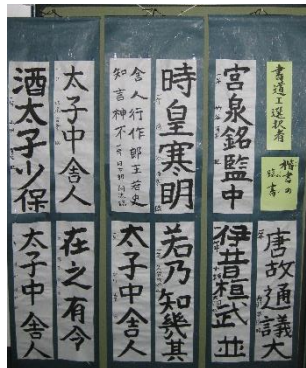


ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

夢を発見し実現できる学校



一方、体育館では有志5組によるひき語り、お琴の演奏、バンド演奏等が行われ、会場を沸かせていました。

午後からは、各クラスの趣向を凝らした展示です。今年度は模擬店が実施できないため、各クラスでゲーム等を行い集客に全力を注ぎました。各学年、玉転がしや射的、ヨーヨーすくいにスーパードールすくいなどの趣向を凝らしたゲームから、謎解きに写真撮影まで様々な工夫をして、夏祭りの縁日のような雰囲気となりました。各会場では生徒や先生が景品目指して参加し、頑張っていました。



## 展示



また、本年度も体育館では文化部・授業選択者の展示が会場を鮮やかに彩りました。展示作品は、美術授業で作成したアート、書道部・書道授業の作品、家庭科部・茶華道部などの作品が展示され、見る人を魅了しました。国語科では、全校生一人ひとりが思いを込めて書いた、「人を愛する歌」も展示されました。



午前のステージの前半で緞帳が動かなくなるというハプニングなどもありましたが、最後の閉会式、表彰までを無事に終え、各クラス全員が協力して盛り上がった神高祭は静かに幕を閉じました。



閉会式では各種受賞者が発表されました。短歌の部門は各学年3首ずつが特選として選出され、神高祭のテーマは小野真嗣君（1年1組）、挿絵はプログラム表紙を飾った赤松稀美さん（3年2組）が受賞しました。また、展示部門では金賞が2年2組、映像で盛り上げたクラスに贈られる Movie 1賞は2年生でした。

## 閉会式、表彰

**<一粒万倍>** 6月18日（金）、生徒たちが待ちに待った「神高祭」を2年ぶりに開催することができました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、中止をせざるを得ませんでした。今年度は、例年どおりとはいかないまでも、実施できたことに喜びを感じ、その気持ちを生徒、職員が前面に出した笑顔溢れる神高祭となりました。途中、緞帳が動かなくなるというハプニングもありましたが、その対応にもみんなの力を結集させ、「チーム神崎」で難を乗り切ることができました。神高祭は、生徒会執行部による「南中ソーラン」の躍動感あふれる演技を皮切りに、午前中は文化部のステージ発表、午後は各クラスの展示や学年動画の上映、有志による発表と神高祭のサブタイトルどおり「時を忘れる1日」となりました。中でも文化部（茶華道部、家庭科部、ボランティア部、吹奏楽部）の皆さんと音楽選択者によるステージ発表は、日頃の部活動や授業での取り組みの成果＝『努力の花』を咲かせた素晴らしい発表でした。

緊急事態宣言下での実施ということもあり、保護者の皆様、学校評議員の皆様へ生徒たちの勇姿を観ていただけなかったのは誠に残念ではございますが、ディスカバリー新聞や本校ホームページ等でご覧になっていただけると幸いです。

コロナ禍で神高祭を実施するに当たり、プログラムの内容の精選を始め、大変苦勞をかけた。中心となって頑張ってくれた生徒会の皆さん、また、ご指導くださった先生方、本当にありがとうございました。



神崎高校のHPはコチラ